

令和5年度全国標準学力検査(NRT)結果の概要

1 全国標準学力検査 (NRT) について

【調査の目的】

子どもたちがこれまでの学習活動を通して獲得した基礎的、基本的な力や活用する力について把握・分析し、今後の学習指導の充実と学習状況の改善に役立てます。

【実施について】

対象学年：小学校4、5、6学年 中学校1、2、3学年

実施教科：小学校 国語 算数 理科の3教科

中学校 国語 社会 数学 理科 英語（1学年は除く）の5教科



2 今年度の結果

令和5年度 全国標準学力検査の結果					全国の学力偏差値を50として比較します				
小学校	国語	算数	理科	中学校	国語	社会	数学	理科	英語
4年	▽47.5	▽47.7	▼46.9	1年	▽48.3	▼46.7	▽48.7	▼46.8	
5年	▽48.4	▽47.2	▼45.7	2年	▽47.1	▼45.3	▽47.3	▼46.9	▽48.2
6年	▽48.6	▽47.7	▼44.2	3年	49.2	▽48.0	▽48.6	▽48.7	▽48.4

印なし：概ね全国並み（49以上～51未満） ▽：全国平均をやや下回る（47以上～49未満） ▼：全国平均を大きく下回る（47未満）

3 経年比較

※全体＝全教科の合計



4 正答率が高かった問題

※表中の数値は、全国平均の正答率（100）に対する市の正答率

小学校			全国比	中学校			全国比
算数	4年	小2年の計算	103	理科	2年	地層	105
算数	5年	小3年の計算	102	国語	3年	感想や考えをまとめ伝え合う	104
国語	6年	漢字の読み、古典的な文章の音読	102	国語	3年	情報を選び構成を考えて書く	102

5 観点別正答率

※表中の数値は、全国平均の正答率（100）に対する市の正答率

教科	小学校			中学校				
	国語	算数	理科	国語	社会	数学	理科	英語
知識・技能	94	94	91	94	89	94	92	96
思考・判断・表現	95	88	89	96	89	94	93	95

6 考察

小学校では各教科昨年度を下回り、中学校では、国語、数学、理科、英語において昨年度を上回る結果でした。

正答率が高かった問題は、小学校の既習の計算問題や国語の漢字の読み等の知識・技能を問う問題、中学校では、理科の地層、国語の考えをまとめ伝え合う問題、情報を選び構成を考えて書く等の問題でした。観点別正答率をみると、小学校の国語、中学校の国語、数学においては思考・判断・表現の正答率が全国平均に近く、子ども主体の授業づくりや学習活動の工夫が進んでいると考えられます。

今後も、各校で校内授業研究や研修等を通して、学校の組織体制で「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善と学力向上の取組みを教科横断的にすすめ、学習内容の定着を図ってまいります。